

ACEF 理事会より特別のお願い

今年も ACEF にとって一年で一番皆様からのご支援が集まるクリスマスの時期になりました。今年は現在の ACEF の財政状況と BDP の状況を皆様にもご理解いただき、継続してのご支援をお願いしたいと存じます。

現在、ACEF の財政状況はこれまでになく逼迫しています。長年、バングラデシュの子どもたちと女性たちへの支援を、現地の要請にできるだけ応えることで、多少の無理を重ねても送金を実現してまいりました。

しかしながら、ここにきて、いよいよ ACEF も今後の活動を継続するためには、身の丈に合った送金だけにせざるを得ないところまで来てしまいました。今後は、皆様からの献金とご寄付の額に応じた送金に限定して活動が続けるしか今後の活動を続ける見通しが立たない状況です。このことは、バングラデシュ側の BDP の人々にも大きな負担が及ぶこととなります。学校の数の削減、スタッフや先生方の解雇などもやむを得ず、BDP では心を痛めている状況です。

ACEF 理事会では、ここで ACEF の活動が行き詰り継続不可能に陥るよりも、どのような形でもバングラデシュの友人たちとのかかわりを続けること、またそのことで、日本の若い人々の中にアジアの隣人と生きることへの喜びと希望の思いを育て続けること、こうした ACEF の 2 つの基本的な理念を再度確認し、今後も継続して支援を続けるためにこのような決断をすることになりました。また、この非常に逼迫した ACEF の財政状況を支援者の皆様にもお知らせし、ご理解いただいた上でこれまでと同様にお祈りと励ましと共にお支えくださることをお願い申し上げます。

過去 30 年あまり、ACEF と BDP はパートナーとして力を合わせてバングラデシュの子どもたちの教育、女性たちのエンパワーメントのために努力を続けてまいりました。その間、こうした活動をお支えくださり、特に災害や緊急の必要性のある度に、皆さまがいつも心あたたまるご寄付によってお支えくださいました。本当に感謝です。

また、これまでも両国における経済状況の激しい変化、支援を続けてくださる方々の高齢化など、活動を続けていくために多くの課題がありましたが、その度に皆さまの祈りとお支えが私たちを励ましつづけてくださいましたこと、ACEF 理事会一同、心より感謝申し上げます。

どうぞ今年も、そしてこれからも ACEF 活動を一層お支えくださいますようよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金理事会
理事長 荒谷 出